

長坂の饅絵

饅絵巡りシリーズ 第13回

- ・開催日 2024年4月24日(水)
- ・距離 約15km
- ・所要時間 4時間30分
- ・スタート 甲斐小泉駅前駐車場
- ・フィニッシュ 長坂駅
- ・コース

甲斐小泉駅前駐車場

↓
小荒間の饅絵4件

↓
横針の饅絵1件

↓
ハケ岳パーキング(昼食・トイレ)

↓
西和田の饅絵1件

↓
成岡の饅絵3件

↓
きららシティ(トイレ)

↓
塚原の饅絵3件↓

↓
長坂駅(トイレ)



きららシティ
(トイレ)

長坂駅
(解散・トイレ)

ハケ岳パーキング
(昼食・トイレ)

甲斐小泉駅前駐車場
(集合・トイレ)

山梨県の饅絵処は津金と小淵沢、でもその間に位置するここ長坂にも十数カ所に饅絵がみられます。須玉や津金に多く見られる「松に鷹」は1件だけです。「松に鶴」はこのコース以外にも1件あり合計3件、いずれもデザインはそっくりですがそれぞれ違う味に仕上げています。同じ職人さんの作品なんですね。

標高差400m以上を歩き下るこのコース、距離はありますが前方に富士、左に奥秩父連峰、右に甲斐駒そして背後にハヶ岳と四方を山を眺めながら快適に進めるウォークです。



① 小荒間集落、信玄棒道沿いにあります。あまり見かけない雰囲気「大黒様」。



④ 「松に鶴」をシルエット調に描いた珍しい作品、常緑樹に挟まれてシルエット調が引き立ちます。



⑦ これはまた色鮮やかな、鯛を釣り上げる「恵比寿様」。黒い背景に黄土色の衣、柄の入った袴と斬新な作品。鯛の赤も引き立ちます。



② 鯛を釣り上げる恵比寿様の饅絵は数多くあるのですが、見たことのない作風。大正元年か2年の作品だそうです。



⑤ ④と全く同じデザインで背景を黒・身体を白に変え、鶴の首だけ黒くしたり頭の上に赤をのせたりして、④をより完成に近づけたような作品。



⑧ きららシティのすぐ近くにある作品で、背景のブルーは独特。津金・須玉・高根に多い「松に鷹」も長坂ではこの1件だけ。



③ ハヶ岳パーキングのすぐ北、横針集落にある、比較的新しそうな作品の「大黒様」。白地でしかも上衣も白、明るい色調の作品です。



⑥かなりシンボル化した「鶴」ですが、太陽を赤くワンポイントに配色。丑鼻下の窓枠の上辺にはトカゲのようなサンショウウオのような動物が描かれています。



⑨ これもきららシティ近くの集落の中で発見。こういう形の龍の絵文字作品、いくつか見てきましたが、中でも肉感があり迫力を感じる作品です。